

特別活動研究会 会報5号

KAWASAKI 特活

学級活動 (1) (2) (3) 児童会活動 クラブ活動 学校行事

川崎市立小学校 特別活動研究会

検索



第65回 全国特別活動研究協議大会 埼玉大会
8月19日(木) 20日(金) 埼玉会館にて開催

大会主題

よさや可能性を発揮し合い、確かな資質・能力を育む特別活動

8月に、全国特別活動研究協議大会が、オンライン併用のもと開催されました。今回この会報では、一日目の全体会の中で行われました安部恭子調査官の講演をまとめたものを、皆様にお届け致します！

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 安部 恭子先生

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う臨時休業からの学校再開後には、限られた時間の中で学校における学習活動の重点化する必要が生じた。そのような中でも、まず求められたのは、**学級づくりの取組**や**感染症対策を講じた上での学校行事を行うための工夫**など、学校教育が児童生徒同士の学び合いの中で行われる特質をもつことを踏まえ、教育活動を進めていくことであった。
- 今まで経験したことがない状況だからこそ、**どうしたらよいかを「自分たちで」考え、話し合って合意形成し、協力して実践する**など、特別活動の充実を図り、自治的能力の育成につなげることが求められる。
- 学級活動においても、ICTの活用は有効な場面もある。ただし、教師の適切な指導の元活用されなければならない。
- 「先生に管理されて、規律がある学校」ではなく、「**児童の自律によって、規律が成立している学校**」をめざすことが大切。
- 週に一回の学級活動の時間をきちんと確保していく**。低学年からの積み上げが、高学年の児童会活動へとつながっていく。



夏休み明けも、素敵な特別活動の実践を！！



日々状況が変化していく中ですが、夏休み明けの学校生活でも「今のままではできないけど、どうやったらできるかな？」と、子どもたち・教職員間で話し合うことが大切です！「**為すことによって学ぶ**」と言われている特別活動。まずは**一歩！**考えてみる、**やってみることからはじめてみませんか？**

●前期の終わりに向けて、お楽しみ会がしたいな！

→学級会で、話し合うことでより楽しい集会になりますよ！

●前期より、後期に向けて係活動を充実させたいな！

→係活動において必要なことは「子どもたちが創意工夫できるものになっているか」が大切です。当番的な活動ばかりになっていませんか？背面黒板等を使って、係活動のコーナーを作ったり、活動の時間を保証したりしてあげることも大切ですね。